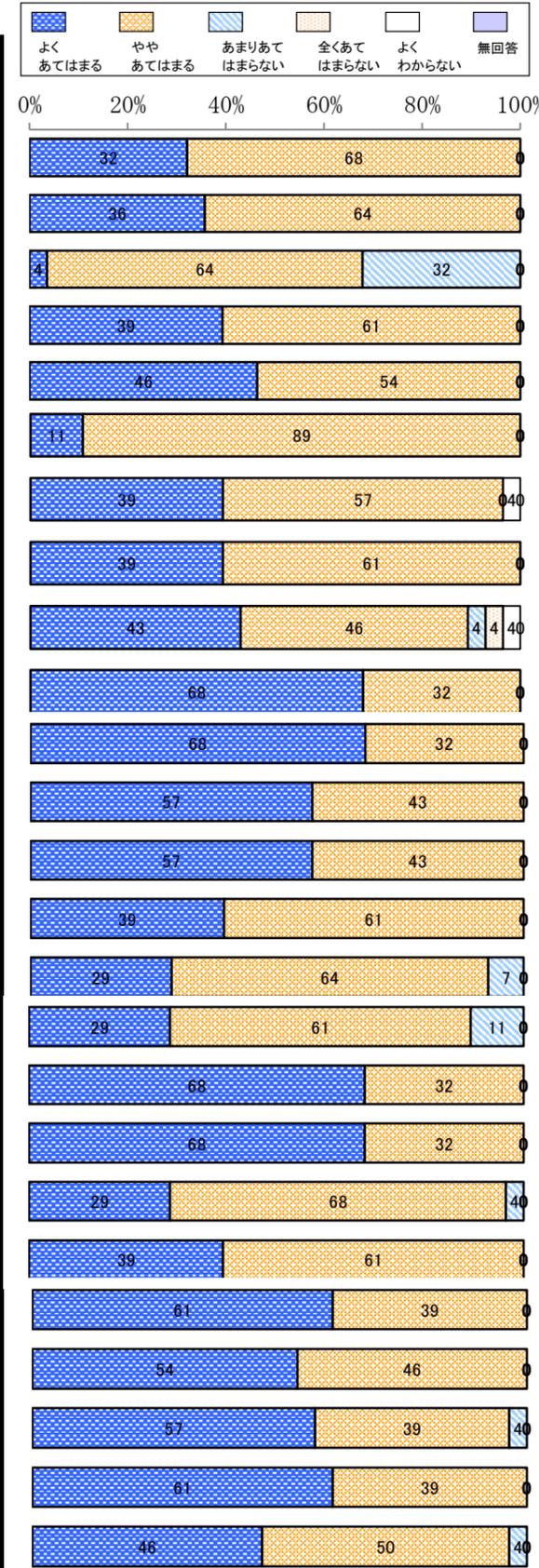


令和4年度 『学校評価アンケートの結果』 と 『自己評価』

荒川区立第三瑞光小学校小学校

様式 4

アンケートの結果			上段：児童 下段：保護者等 グラフ：教職員						
			A	B	C	D	よく分からない	無回答	
学校全体の様子	1	教育目標・方針	児童・生徒や保護者等と共有できるように学校の教育目標を示し、方針を説明している。	50	39	7	1	4	0
	2	児童・生徒の様子	児童・生徒は、明るく素直で、生き生きとした楽しい学校生活を送っている。	68	25	5	1	1	0
	3	基本的な生活習慣	児童・生徒の服装や通学態度、挨拶など基本的な生活習慣がしっかりしている。	51	40	6	2	2	0
	4	児童・生徒理解	児童・生徒の良さや努力しているところを見つけ、励まし、理解しながら一人一人の能力を伸ばすように努めている。	28	45	18	3	5	0
	5	健康・安全・安心	児童・生徒の健康や安全（確保・対策）に配慮するとともに、主体的に行動できる防災教育を充実している。	62	27	8	2	2	0
学力向上の取組	6	分かる授業	楽しく分かりやすい授業が実践されている。	51	36	9	2	2	0
	7	個に応じた指導	習熟度別学習等、児童・生徒一人一人の理解の程度に応じた学習指導が行われている。	57	33	6	2	2	0
	8	学習習慣	放課後の補充指導等を行うとともに、家庭での学習課題を提示する等、学習習慣の定着を図る工夫をしている。	69	23	6	2	1	0
	9	情報教育	タブレットPCなど、ICT機器を活用した教育を推進しながら、情報活用能力の育成に向けて取り組んでいる。	59	30	8	2	2	0
	10	学校図書館の活用	読書と学習に役立つ学校図書館として活用されている。	52	30	11	3	3	0
社会性・人間性の育成	11	人権教育	自他を大切に、偏見や差別を許さない豊かな人権感覚を育てる教育を行っている。	65	28	4	1	2	0
	12	道徳教育	生命を大切にする気持ちや他人を思いやる心、善悪の判断や規範意識を育てる等、道徳性をはぐくむ教育を行っている。	48	37	10	2	4	0
	13	教育相談	教育相談を充実し、いじめや不登校を防止する等児童・生徒一人一人の居場所がある学校づくりに努めている。	41	29	15	8	7	0
	14	人間関係づくり	学校行事等の教育活動を工夫し、体験活動を充実させながら望ましい人間関係が築けるよう取り組んでいる。	77	17	4	1	1	0
	15	自治的な活動	学級活動や児童会・生徒会活動等で、児童・生徒が自発的・自治的に活動できるように工夫しながら指導している。	61	29	7	1	2	0
保護者・地域との連携	16	情報発信	学校便りや学年便り、学校ホームページ等で、保護者や地域の方に、学校の教育活動の様子を分かりやすく知らせている。	44	29	10	2	15	0
	17	相談への対応	児童・生徒や保護者からの連絡や相談を丁寧に受け止め、適切な対応をしている。	47	37	8	2	6	0
	18	学校への参加	学校公開週間や土曜授業日、学校行事等では、保護者や地域の方が参加しやすいように工夫している。	53	27	11	5	3	0
	19	地域との連携	地域の行事などに協力的で、連携を図っている。	46	33	14	5	3	0
	20	意見の反映	保護者や地域から寄せられた意見や要望を受け止め、学校運営と教育活動の改善に努めている。	45	29	9	2	14	0
各学校の特色ある教育	21	理科学習	理科や生活科では、授業内容を充実させ、楽しくわかりやすい学習ができるように工夫している。	64	21	8	4	2	0
	22	読書活動	子どもたちは進んで読書に取り組み、読書の習慣が高まっている。	61	28	9	3	1	0
	23	体力増進	朝遊びや休み時間、体育の学習等で、児童が体を動かすことを楽しむ取り組みを行っている。	69	24	6	0	1	0
	24	伝統文化	職人教室、書道教室、百人一首大会等を実施し、伝統文化を尊重する心を育てている。	43	31	16	5	4	0
	25	異学年交流・体験学習	なかよし遊び等の交流活動や地域と連携した体験学習を通して児童の社会性を育てている。	58	27	8	3	4	0



無効票を除く(%)

無効票を除く(%)

学校の自己評価（考察）

校長講話で学校目標に触れたことが成果につながった。保護者に対しては、学校だよりや保護者会等を通しての説明を継続していく。

児童数の増加、感染症予防対策への配慮をしながら、更に児童が生き生きとした楽しい学校生活を送ることができるよう、今後も遊び場や遊び方の工夫・改善に努めていく。

挨拶の大切さや交通マナー等について日常的に指導すると共に、月1回の安全指導において重点的に指導を行っていく。今後も家庭と連携を図っていく。

今後も児童が活躍できる場を設定し、頑張る姿を逃さずに見付け称賛する。児童の自己肯定感が高まり、満足感を味わえるような声掛けを継続して行う。

今後も感染症予防に配慮しながら、避難訓練の方法を工夫していく。更に猛暑対策も実施しながら、安心安全な学校運営を行っていく。

引き続き研究を進めていくことで、児童が主体的に学ぶ授業の実現を目指していく。そこでの成果を日々の授業に生かす。

算数において、習熟度に応じてクラスを分け、指導を展開していく。ベーシックドリルテストや学力調査の結果を基に個に応じた指導を充実させる。

寺子屋の実施に加え、タブレットPCの活用を推進することで家庭学習の充実を図り、学習習慣の定着につなげていく。

情報活用能力向上のため、オンライン教材やGoogle workspace等をどのように授業に取り入れていくのか、タブレットPCの活用法について検討していく。

国語や総合的な学習の時間だけでなく、全ての他の教科においても学校図書館を活用し、学びの質を高めていけるようにする。

日常的な学校生活の中で、人権を意識して取り組めた。人権週間に人権に関する学習や人権標語を作成して掲示したりし、人権感覚を育む取り組みができた。

道徳授業地区公開講座や親子で東京都の教材集の課題に取り組むことができ、家庭と学校で協力して取り組めた。

児童一人ひとりにきめ細かい配慮をし、安心して生活できるようにする。SCとも連携をとり相談体制の強化を図れるよう検討する。

児童が活躍できる場づくりに努めてきた。今後も児童が主体的に活躍できるように工夫していく。また、保護者には保護者会やHPを通して伝えていく。

クラブや委員会等での活動を充実させられるよう努めてきた。今後も多くの児童が主体的に活動できるよう工夫していく。

今後も学校だよりや学年だより、配信メールやHP、Google Classroomなどを活用して、必要な情報を発信していく。

概ね適切に対応できている。相談があった際は、初期の段階から学校の対応をしっかり伝え、信頼関係を築いていく。

社会的状況を勘案しながら学校行事等に参加しやすいように工夫していく。また、ICTを活用した配信等、PTAとの連携を深めていく。

地域行事が徐々に戻りつつある。状況に合わせて地域との連携を深め、地域行事への積極的な参加を促していく。

真摯な受け止め、迅速に対応することができている。今後も保護者や地域の要望に誠実に対応していく。

理科講師と連携して教材・教具の準備を行い、理科学習の充実を図れた。自然観察の専門家の指導により、生活科も充実させられた。

朝読書や読書月間での取り組みを充実させ、読書習慣の定着を推進できた。今後も司書教諭や学校司書と連携し読書活動の充実を図る。

日々の体育授業を充実させることに加え、外遊びを促したり、体育朝会の機会を活用したりする中で、体力向上を図っていく。

書道教室や百人一首大会、お琴教室を計画通り実施できた。さらに、俳句に親しむ活動も実施し、伝統文化を体験させることができた。

引き続き、異学年交流を行い、社会性を育てていく。また、保護者には保護者会やHPを通して伝えていく。